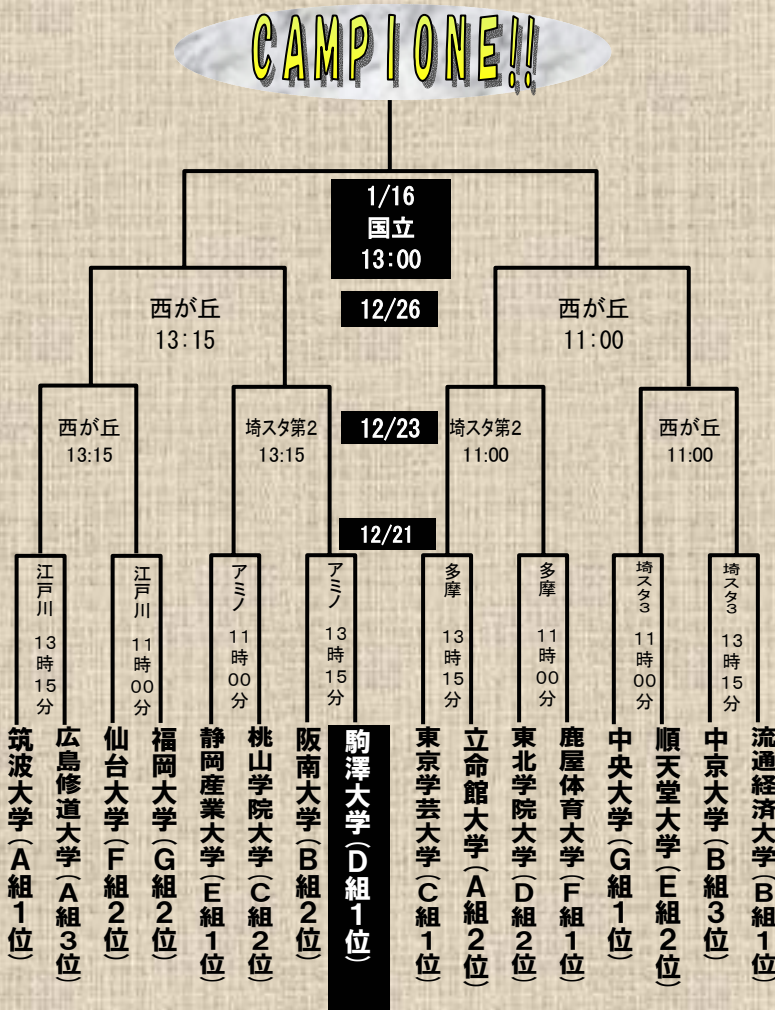


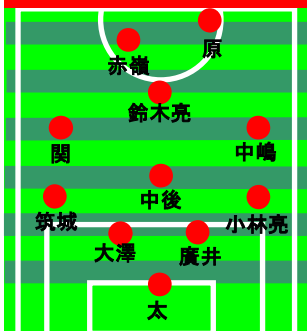
「次に繋がる試合にしよう」と話していただけが物足りない試合だったと中後が語るように、立ち上りの悪さなど決勝トーナメントに課題は残る



インカレ決勝トーナメント組み合わせ



基本フォーメーション



MOM 小林 亮



効果的なオーバーで弾き、ゴールを撃ち抜いた。高スロの攻撃に弾みをつけ、精度の高い攻撃の面で活躍した。

12月5日 13:15 駒沢オリンピック公園競技場	
駒大 3(1-0)0高知大	
(関東第3)	(四国第1)
得点者(アシスト)	
[駒] 12分: 関 光博(1)	
[駒] 60分: 原 一樹(4)(中嶋祐太(1))	
[駒] 76分: 巻 佑樹(1)	
KOMAZAWA	KOCHI
GK④太 洋一(4)	GK①内海宏昭(2)
DF③筑城和人(2)	DF⑧土岐勇人(3)
DF③大澤陽介(4)	DF③坂口 遼(1)
DF⑤廣井友信(2)	DF④竹林智哉(1)
DF④小林 亮(4)	DF②藤井 直(3)
MF⑥中後雅喜(1)	MF⑩日出山亮太(2)
MF⑧中嶋祐太(4)	(79分⑦三井陽介(4))
MF⑩関 光博(4)	MF⑥柏木佑介(1)
(63分⑨巻 佑樹(2))	MF⑤管 和範(1)
MF⑦鈴木亮平(3)	MF⑩宇田智之(3)
(80分④相山泰紀(4))	(61分⑩小山辰吾(1))
FW⑨赤嶺真吾(3)	FW⑩中田洋平(3)
(70分④大瀬良直人(4))	FW⑨松本卓也(3)
FW⑪原 一樹(2)	(83分⑩井上博之(3))
S U B	S U B
GK①牧野利昭(2)	GK②大川 伶(3)
DF⑦岩本哲也(4)	DF⑤本田寧史(2)
DF②桑原 靖(3)	MF⑦西森 雅(1)
MF⑫菊地光将(1)	MF⑪南方孝太(2)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	野地照樹
警告(C)/退場(S)	
[駒] 50分: 関 光博(C)、79分: 鈴木亮平(C)	
[高] 64分: 管 和範(C)	
[シュート]14:2[CK]6:14[CK]5:6[PK]0:0[直接FK]25:19	
[間接FK]6:11[OS]5:7[主審]相山公彦[観衆]約400人	
※上記データは全て左側の数字が駒澤	

インカレリーグ2節ハイライト

この日もスロースタート...
しかし結果を残したラスト20分



2004年12月3日 13:15 駒沢オリンピック公園競技場

駒澤大学 4-0 亜細亜大学

得点(アシスト)=73分:鈴木亮(1)(宮崎2)、83分:中嶋2(赤嶺1、桑原1)84分:中後1(PK)87分:原3

駒澤大学●GK 牧野利昭/DF 筑城和人(89分石井晃一)、桑原靖、大澤陽介、小林亮/MF 中後雅喜、宮崎大志郎(88分菊地光将)、中嶋祐太/FW 赤嶺真吾、巻佑樹(67分鈴木亮平)、原一樹

亜細亜大学●GK 斎藤太球哉/DF 冷水雄一、鶴田純、塩沢順、神村勇太/MF 稲見利一、若杉慶太、高橋学、辻森哲平/FW 風間裕介、吉武亨

[シュート]14:4[GK]7:16[CK]8:0[PK]1:0[直接FK]18:10
[間接FK]5:2[OS]4:1[主審]前之園晴廣[観衆]約600人

快勝はしたものの初戦に続いて課題の残る内容となった。前半10分FKを与えてしまい、クリアするもカウンターから一対一の場面をつくってしまうなど、なかなか駒大ペースに持ち込めない。両者無得点のまま後半へ。悪い流れを変え切れない67分鈴木亮を投入。「空気が悪かったから盛り上げようと思った」との言葉通り73分宮崎のアシストでゴールを決める。それを皮きりに中嶋、中後、原が得点をあげて試合終了。前節と共通しているのはスロースタート...。「自分たちのサッカーをもう一度見直さないと上にいった時に厳しい」と中嶋が言うように、このままでは優勝に近づく事ができない。課題をどこまで修正できるかがこれからのカギになるだろう。

(山本麻紗子)

後期リーグ最終節から起用され続けている宮崎は、鈴木亮のゴールをアシストするなど勝利に貢献した(岩田陽一撮影)